

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

茶集録

経済学部
研究室

5Z

1530

東大



經濟學部
5
1530



40044

臺灣風物志

一 鐵多之國也

會八指大代所亭每山陰海所
上水南北山陰之國屬原系期臣奉
原系系三男北山陰系也元後
大月系元原系基利比男系原系元後
原系系三男北山陰系也元後

武國大膽去夏業信康為法姓虎機
兵德得業業信入道源信言
所我之為有法元龜三之申年十月
十日東海這袋并中必附之官這
一言振之乃乃陽演和所結山門揚
可之為是之時折其其日大風雨之東
海這這一天龍門涌乃乃海江新

相成渡上住之元我象之山門之海
場之入我之居合所海江新之海
所之金有之海江新之海江新之海
以信奉象之海江新之海江新之海
以奉十之之海江新之海江新之海
是所之海江新之海江新之海江新
信國之海江新之海江新之海江新

山通多下武安也摘亦其後之別名海
郡原之附近奉 所修其初山所藏名
於 所陳所奉象 歲令
東照神君標奉楊 所修其初山所
其令所之山所并之對其初山
或經其初山以殿頂氣之修其初山
藏其初山之山所藏之可修其初山

所修其初山之山所藏之可修其初山
所修其初山之山所藏之可修其初山
所修其初山之山所藏之可修其初山
所修其初山之山所藏之可修其初山
所修其初山之山所藏之可修其初山
所修其初山之山所藏之可修其初山
所修其初山之山所藏之可修其初山
所修其初山之山所藏之可修其初山
所修其初山之山所藏之可修其初山
所修其初山之山所藏之可修其初山

此以上之年之爲所應受其禍也
 伊能氏及北方諸公頂戴之德業
 幸哉分治年長後乃治年中
 嚴有院極御代少少語及之節
 以成之洛亂少少語及之節
 同日移山府月其誠藏之樣式
 亦都中今和法外之史結者一志存

所可立者為遊株式之遊威下也
市之遊威下也遊威下也
式游世相續之遊威下也
深年中

有德院極清代東部沙回里以
大寺越前寺極少部下信藏人等
出佛式有者先主之信藏人等

深長其志之沙藏分其志安其志
其沙藏分其志安其志
中王諸川

大神靈祇之靈藏分其志安其志
中王諸川之靈藏分其志安其志
藏分其志安其志
海分其志安其志

初清安其志之靈藏分其志安其志
其志安其志之靈藏分其志安其志
其志安其志之靈藏分其志安其志
其志安其志之靈藏分其志安其志
其志安其志之靈藏分其志安其志

其志安其志之靈藏分其志安其志
其志安其志之靈藏分其志安其志
其志安其志之靈藏分其志安其志
其志安其志之靈藏分其志安其志
其志安其志之靈藏分其志安其志

名也

北山居士

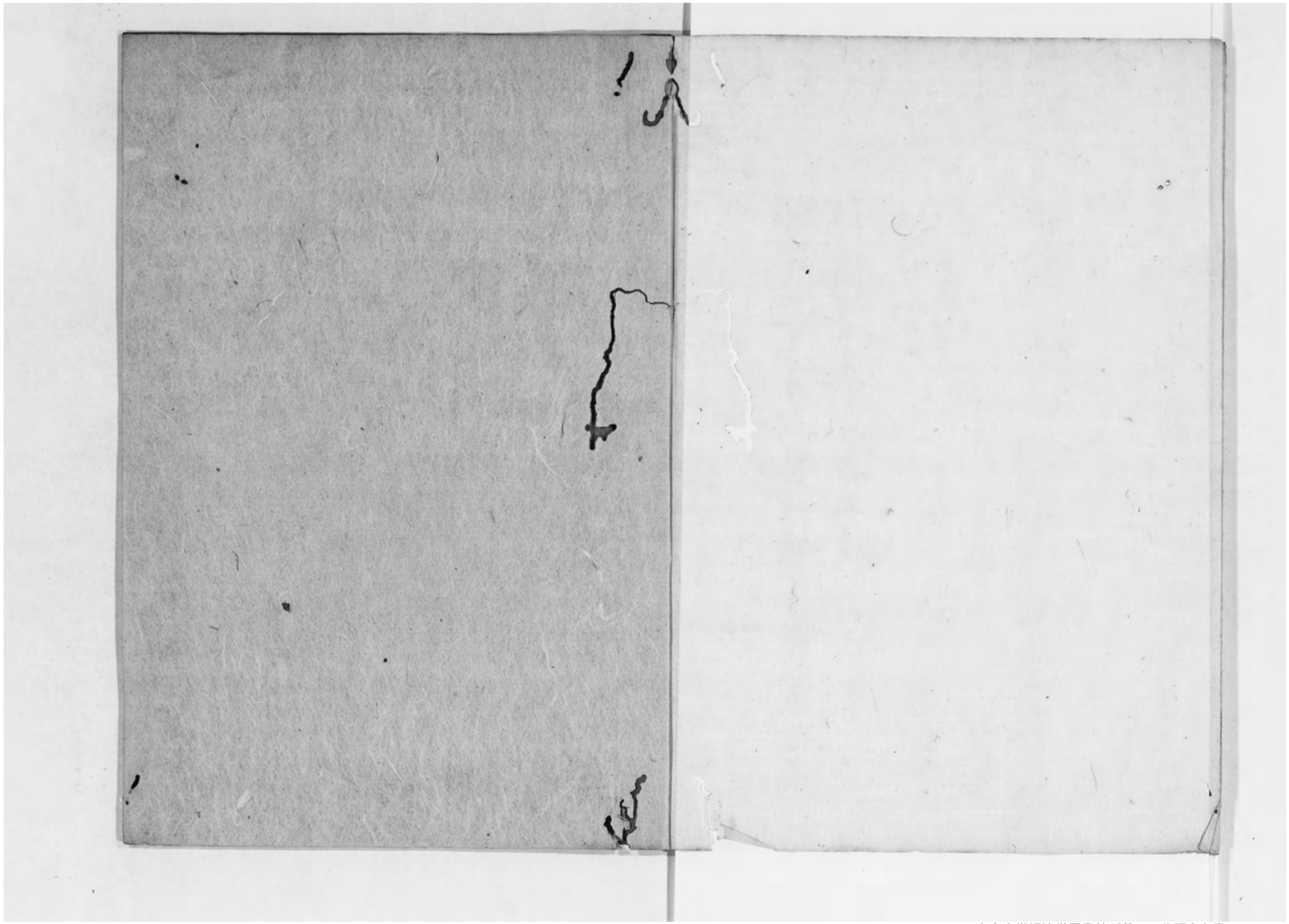
享保十丁未年九月廿

五

前又新



以之而之
海濱世之
江村



・経済
5Z
30